

大曲地区実質化された人・農地プラン

市町村名	地区名(地区内集落名)	作成年月	直近の更新年月
名取市	大曲地区(大曲)	平成28年2月	令和4年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	68.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	40.4ha
③地区内における80才以上の農業者の耕作面積の合計	2.0ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.9ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.1ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	54.0ha

2 地区の課題

<ul style="list-style-type: none">・大規模経営と兼業農家(個別経営体)ともに高齢化が顕著となってきた。・農機具、機械、施設等の更新時の資金確保や調達が難しくなってきた。
--

3 地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none">・中心経営体である認定農業者が農地利用を担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。
<ul style="list-style-type: none">・規模拡大希望の法人等の担い手とのマッチングも行い、集積を図る。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>農地中間管理機構の活用方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。 ・中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。
<p>農業経営の効率化・安定化に向けた取組方針 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稲と大豆等の土地利用型作物や特産品である野菜を組み合わせた複合経営の継続及び拡充を推進する。
<p>農業経営の効率化・安定化に向けた取組方針 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で機械の共同機械導入を図り、共同経営の組織化を検討し、法人化を目指した取り組みも検討する。

5 今後の中心となる経営体の状況

(1)中心経営体数

	個人等	法人
① 認定農業者	4人	2法人
② 認定新規就農者	人	法人
③ 集落営農組織	組織	法人
④ 他市町村の認定農業者	人	1法人
⑤ 他市町村の認定新規就農者	人	法人
⑥ 基本構想水準到達者	人	法人
⑦ 今後育成すべき農業者	人	法人